



# えがお



新年あけましておめでとうございます

初春とはいえ 厳しい寒さが続いています。皆さんいかに  
お過ごしですか。ついつい猫のように こたつで丸くな  
てしまいがちですが、勇気を出して、散歩へ、畑へと  
繰り出しましょう。そこには、元気と笑顔が待っています。



さて、新年号 トップインタビューは、もちろん この方。  
“平倉のジョンレノン?”こと、院長 松永平太先生です。  
平倉に戻られて20年、超多忙な日々の中にも、パワフルに  
人生を楽しむ 松永平太先生の“元気”に迫ります。



- ③ 先生が医師になろうとしたきっかけはありますか?
- ④ 小さい時から父の働く姿を見ていたし、周囲からも、「医者にならなだらう。」という流れもあり、自然とそう  
なりました。今では、感謝される、やりがいのある仕  
事だと思っています。
- ③ 松永病院を継がれる前は、東京の総合病院にいら  
したそうですね。
- ④ まかされる業務が多くて、毎日が忙しかった。外来・  
病棟・検査・急救・当直・在宅...何でもやりました。

- ③ その頃から 地域医療にはずっとたずさわってこられたのですかね。
- ④ ここ平倉でなら、自分の持っている 地域医療の経験を 実践できると考えました。  
今の豊かな日本を作ってくれた 高齢者の方々が「自分の人生、これで良  
かった」と思えるように、又「最期は家で迎えたい」という 自然な気  
持ちを 支えていきたいと思つたのです。今もめの時の気持ちを 忘れないよう、  
毎週水曜日は東京へ行って勉強しています。

⑧ 今の先生のスタイルはここから生まれているのですね。  
いつも元氣な先生ですが、お休みの日はどのように過ごされているのですか？

⑨ 勉強会へ行ったり、料理を作ったりしています。  
昔の開業医は「勉強しなくてもよかった」というような偏見がありました。しかし、今は「丸ごと全部みまわす！」という『家庭医総合内科』の流れがあるので、週末は、診療に役立つような研修や勉強会に参加しています。

⑩ お休みの日も 患者さんのことを考えてくれているのですね。  
もう一つの「お料理」の腕前は...？

⑪ もし医者にならなかつたら、教師か料理人になりたかった、それくらい料理は好きなのですか。家族の評判は.....。

⑫ 最近卓球のラケットを購込されたそうですが。

⑬ 卓球は、中学～大学までやっていました。中学の新人戦では、2位で県大会まで行きました。

⑭ 昨年の夏はオリンピックもあり卓球はとても盛り上がりましたね。

⑮ 私も新しいラケットで久しぶりに楽しみました。卓球の良いところは、年を重ねてもできることです。高齢になり、デイサービスに通うようになってからも、卓球の経験があれば、ヒーローになれます。いつの日か、夢くらぶの鈴木香子看護師長と対戦したいですね。  
(香子師長は\*カットマンです)



「解説しよう!!」  
カットマンとは、卓球の戦型の1つ。  
サーブをしたら、すぐさま後方へ下がって、相手の攻激をひたすらカットしていき、相手がミスるのを待つ。いわば

**究極の守備型**

なのだ!!

⑯ 先生は、生きる力がみなぎっていますね。先生のパワーの秘密を教えてください。

⑰ あっ、ほっほ、は.....(笑) 家では、おとなしいもんです。



ちらかしてばかりいるので、妻に「片づけて!」と言われるけど... 片づけられないんです。そうやって、家で静かに、おとなしくしていると「このままではいけない」とパワ-がフツフツと沸いてくる。元氣が爆発するんです。この1年もハッピーな年にしますよー!!



↑こんなかんじ...?!





今年もよろしくお願ひします

松永醫院